

\*緊急のご連絡です。ご協力をお願いします。

/// I N D E X ///

- ・緊急連絡-----経済産業省の CFP のパブコメ
- ・LCAF からお知らせ…3月4日(土)に「中級検定」を実施します。
- ・編集後記……………CFP の検討会と LCAF の理念

■■ 緊急連絡：経済産業省の CFP のパブコメ ■■

私が座長を務めていた「サプライチェーン全体でのカーボンニュートラルに向けたカーボンフットプリント算定・検証等に関する検討会」で検討してきた「カーボンフットプリントガイドライン」がパブリックコメントに付されています。締め切りは、3月2日(木)です。

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=595223009&Mode=0>

このガイドラインは、タイプ III 環境ラベルのカーボンフットプリント (CFP) のためのガイドラインではありません。企業の皆さんが、自分の製品の CFP を計算して自主的に開示することで、たとえば納品先の企業が Scope3 基準のカテゴリー1 (購入品の CFP) で使えるようになり、サプライチェーン全体 (広く言えば社会全体で) カーボンニュートラルに向かうことを目指しています。CFP を算定するためには算定ルールが必要ですので、関係者が集まる工業会等で「商品別算定ルール」を作成するためのガイドにもなっています。

ISO14044:2006 及び ISO14067:2018 を基礎にしていますので、自主的な算定では内部検証も認めています。しかし、将来の公共調達へ利用する場合の想定があるなど、ISO が想定している範囲を超えていると私が思う部分もあります。

皆さんが、自分の製品の CFP を算定し利用するために役立つガイドラインでなければいけないと思いますので、皆さんのご意見をパブコメに書いていただきたいと思います。

また、CFP を取り巻く最近の状況の調査レポートも同時にパブコメに付されています。勉強に役立つと思いますが、皆さんの活動に関することも書かれていますので、「勘違い」があったら指摘してください。また、調査が足りないと感じられる部分があればそれも指摘してください。

ご協力をよろしくお願いします。

■■ LCAF からのお知らせ ■■

- ・「LCAF : LCA 中級検定」を3月4日(土)に行います。過去2回の問題と解説をホームページに公開しています。事前の勉強に活用してください。

■■ 編集後記 ■■

私が座長を務めた経済産業省の CFP の検討会が、ひとまず終了しました。上に書いたように、パブリックコメントを経て、経済産業省がガイドラインを発行するという手続きになります。手続き論としては「検討会は意見を述べる」にすぎませんので、そう思うと、少し気が楽になりますが、良いガイドラインになったかやはり気になります。

検討会に参加して感じるのは、最近のカーボンニュートラルの流れの中で、LCA やカーボンフットプリント (CFP) を勉強する人が急激に増えているということです。1993年にTC207が設立されてから既に30年が経ちます。私がドイツのマテアス・フィンケバイナーとシンガポールのレジナルド・タンと3人で議長をし、それまでのLCA関連のISOをまとめてISO14040:2006とISO14044:2006を発行してからも既に18年です。検討会で委員の皆さんの理解を深めてもらいたいと思い、昔の経緯を話した場面が何回かありました。委員の皆さんやユーチューブの配信を聞いていた方にとっては、古臭い話と映ったかもしれません。

話は変わりますが、久しぶりにコンサートに行きました。前回コンサートに行った時に、「指揮

者はブROMシュテッドでした。さすがに椅子に座っての指揮でしたが、95才でまだ現役なんですね。」とLCAF通信に書いたのが11月22日ですから3ヶ月ぶりです。今回の指揮者は42才、元気いっぱい、指揮台の上でまるでダンスを踊っているようでした。躍動感に満ちたブラームスでとても良かったのですが、私には何か違和感が残りました。私は終バスに間に合うように演奏が終わるとすぐに席を立つのですが、今回は私のように拍手もせずすぐに席を立った年配の人が多くに思いました。私の一人よがりでしょうか。ブラームスについての若い人の理解はまた違うのかもしれないと思います。その人の理解を支える社会の変化があるのだと思います。

ISO14040と14044も見直しのたびに、改定するという意見がでます。このLCAの規格を基に、ISO14067(CFP)もできていますし、ISO14045(環境効率)やISO14046(ウォーターフットプリント)の規格もあります。LCAの規格を変えるといろいろなことに波及するので、このまま維持する方が良いという判断です。18年です。Scope3基準が2011年に出て、SDGsが2015年です。社会の動きの中で、私はやはり古臭いのかもしれません。しかし、古いものの上に新しいものを作らなければいけないのだと思います。古い話を若い人たちにしっかり伝えることを忘れないようにしたいと思います。

LCAFの設立理念に、「LCAの研究と実施を経験して来た世代の知見を活かし、これから新たな社会を作る世代との架け橋になる事業を展開します。」と書きました。設立3年が経ちました。もう一度、LCAFの原点を確認したいと思います。

(LCAF 理事長 稲葉 敦)

ご意見、ご感想、本メールマガジンの解除のご連絡はこちらまで  
[lcaf-contact@lcaf.or.jp](mailto:lcaf-contact@lcaf.or.jp)

一般社団法人 日本LCA推進機構

Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)

(エルカフと呼んで(読んで)ください)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-36-7

アルテール池袋 608

電子メール : [lcaf-contact@lcaf.or.jp](mailto:lcaf-contact@lcaf.or.jp)

URL:<https://lcaf.or.jp/>